夕刊
三月二日發行
定價一ヶ月金六拾錢（郵稅金五錢）
廣告料 一段一行一回金六拾錢 二段一行一回金壹圓 五段以上一行一回金壹圓
編輯兼發行人 柏木 榮
國島郡石田村大字石田字田中二番地
發行所 碧城新聞社
電話 五八四番
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替貯金口座一〇六五八五番

天氣豫報

小名浜測候所調査

今晩は北東の風晴

明日は北東の風晴

曇

歐米ところどころ

長久保俊夫

（4）

十六日夜南方海上に南十字星を見る。此夜餘興として最高平均が八二度二分、そして花火をあげる。花火あげの差が僅か一七度六分で八月の最高平均が八二度二分、その差が僅か一七度六分、従て年中花も咲けば果實も實も鳥も歌よ。而も何れも美しい。邦人の數も十五萬人で第一位を占め數円も限りであるが、その日の運轉手の話では失業者の増加と人種差別の激化とから非常に就職難であるまの事であつた。

檢疫（食堂に腰かけて顔を見せるだけ）がすんで船は桟橋に横付けとなる。早速有志を募つて自動車を傭して市の内外を視察する。茲に第一歩をアメリカの土地に印したのだ。市内はすべてアメリカ式で道路は右側通行だ。勞働力の少い所でバス、トロリーバス、電車何れも運轉手だけで車掌が居ない。乘客は各自入を出て料金箱に料金を入れる。此の日の午後博物館を見ようと思つて、うつかり右側で電車を待つたり、料金を入れずにすまして腰掛けて居つて、運轉手に料金箱を指して注意されたりしたのはそもそも矢敗の始めである。其所は北緯二十度餘りであるお氣候は極めて宜しく、二月の最低平均温度は華氏六四度六分で八月の最高平均が八二度二分、そして最高平均が八二度二分、そして最低平均が一七度六分、従て年中花も咲けば果實も實も鳥も歌よ。而も何れも南國情調の溢れたものだ。浦島なりすともこんな所に居つたら過ぎた月日も夢と忘れてしまうであらう。お

春は躍るよ

西山六三

空はま碧だ
鴿が鳴くよ
麥のうね並　微風まかせ
うれしい天氣に
眞白さいトロロ
春のなさけに、希望は躍る。
色ゝ香の
雄篠が飛ぶよ
伸びる槍卷に　心も滅入る
うかれ化粧に
眞日さいトロロ
春の音頭で、踊ろじやないか。

つぶやき

○麥畑むかしびばあを追ひかけた、その麥畑いまも麥畑　高草木暮風

△天下茶屋の仇討（慶長一四）△電話の發明家ベル生る（一八四七）△井伊大老斃る（萬延元）△安部社大黨首暴漢に襲はる（昭和一三）

3月3日

聞金成大尉（有光君）養病仲臺陸軍病院

球雲　小野務平（其の一）

千軍無所懼
一病奈君何
夢繞湖邊野
不堪悲憤多

講談

恩讐無道

（41）

久我莊多郎

香川三十代書

―天の卷―

流れ雲（十一）

三五郎は、あきれたやうにお樂の顔を仰ぐのみである。

馬には、お樂より三五郎こそ、自信があつた。彼は旅に出て、山くわの群れ交はる間に、すつかり技術を習得したのだ。しかし、夜の山坂を、それも、馴染のない嶮しい道を、乘切るだけの腕であつたらうか？

三五郎は、自分自身あやむのだつた。

その間にも、お樂は、手早く身仕度をとゝのへてゐる。早くせねば日が暮れるのだ。日暮れてからの危險は、いくら無鐵砲なお樂でもよく知つてゐる。

「さぞ、の。行つて來る」

「あ、お待ちなせえ」

さすがに、見捨てる事の出來ない三五郎である。死んだお樂の父から受けた恩を思へば、お樂の爲に一命を捨てても當然な自分である。三五郎は咄嗟に考へた。

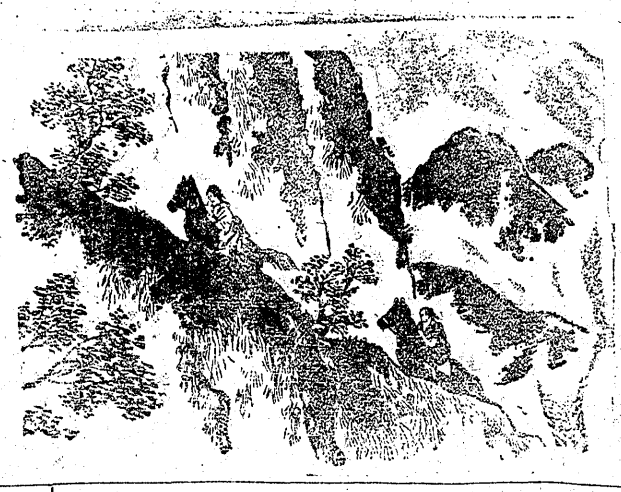
「あつしも、お供しませう」

「有難う」

短い言葉だが、例の勝氣な氣性で、早や涙ぐんでゐる。

それを見たゞけで、三五郎は、もう滿足だつたらう。二人は、宿を飛出して駈だけ。

お樂は、少女の頃、長い田の舍で暮してゐたことがある。父はさすがに、お間れたくなかつたのだらう。相州の田舍の、乳母の家で起き臥してゐた時分、乳母がはら〳〵するのを尻目に、お轉婆なこの少女は、よく野良稼ぎの馬を乘り廻したものである。時には水馬も使つてゐたし、山をはせたこともある。その頃のなぐさみが、いま戀しい男のために役立たうとは。



やがて、ヒーンと馬の嘶作つて、數十遍となく折れ曲がりながら、はげしい勾配をのぼるのである。もし一歩踏み過てば、下は鬱蒼たる密林の底に、潺々たる音を立て急流をながした深い溪谷だつた。男の身にも、ぞつと粟立つものを感じるのにこの難路へ、お樂はしやにむに馬を乘り入れる。

一刻遲れれば、それだけ早く、再藏の身に危險が迫る。

（あの方が萬一……）

この考へが、お樂に、必死の鞭となつた。暗い口を開けて、下に待つ深い淵も、何ほどのことがあらう！

たゞ、高い山と川にかぎられた狹い空に心を使つて暮やすい山國の日を追ひ拔くのだが、馬の足掻きは緩かつた。足元が刻一刻と暗くなるから、馬はだん〳〵臆病になつて行くのだ。

「寄や、お願ひだから……」

と、聲もおろ〳〵となる。泣き出したいやうな氣持。息は、はづむ。髪はほつれて、汗ばんだ雪の額にふりかゝる。

本沼は、古峰原峠を左に見て、急坂を下ればそこだ。

それにしても、なんとお樂の優れた技であらうか。臆病に足掻きの緩んだ馬をはげましはげまし、あるひは急坂を攀のぼり、また、電光形に折れ曲つた道を、巧に降つて行く。

その、物に憑かれたやうなお樂の姿に、三五郎は、馬上で幾度か瞠目する。

間もなく、ずつと山の裾に古い鏡を置いたやうに光つた夜の湖が見えた。

本沼である。

平局俳黎會

二月句會互選句集

○銃後守る節分にして豆小なかな　松露
○晩學や節分の夜の悔深し　陽光
○節分や土のふくれにこぼれ豆　水明

『寒の月』

○寒の月背戸に水汲むたれやらが　松露
○寒月やいとかの波に照も返る　同人
○拍子木に犬吠ゆ立てり寒の月　弧雁
○寒月や屋臺をばやの湯卵白し　同人
○寒月に木の影ゆるく大地かな　鹿子
○寒月や雪の下なる水の音　同人
○雪明り夜靜かなる寒の月　青風
○寒月や雪溪青く照り映ゆる　同人
○動き森寂然とあり寒の月　同人
○寒月や烏移るらし動き森　同人
○高樓を探く覗きし寒の月　陽光
○ばれある鰯干場の寒の月　同人
○寒の月告げ得ぬ思を仰ぎけり　秋人
○銭湯を出でゝ仰ぎぬ寒の月　同人
○寒月やレールの光冷々と　白砂

吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番

高島屋の洋服
男女學生服　新入荷
中等學校　國防色外套……大特賣
品製既二並文注
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

夜診　病性腸胃
（見習看護婦募集）
内科　胃腸病科
花柳病科　性病科　皮膚科
専
松村醫院
（平市南町電一〇七番）
性腸胃病科醫院
診療間

斷然一賣行よし
信用と品質と共に傳つて
平市鎌田町　電話五一
低温殺菌
田岡牛乳

産婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九

吸入用酸素純度99%
度量衡器計
モノサシ　マス　ハカリ
体温器　秤ノ取締　寒暖計　重糸・條繻致シマス
關内藥局
電話四〇番

新工場始業ニ付
從業員募集
一、指物大工　經驗アル方　三十名
一、指物、挽物見習工　三十名
一、女工　三十名
一、女事務員　二名
高等女學校卒業の方（特ニペン字ト珠算ノ上手ナル方）
御希望ノ方ハ平市職業紹介所又ハ當工場ニ申込マレタシ
定給ノ外歩合及賞與ノ特典アリ
佐藤木工所
平市十五町目二六番地
電話二五三番

生徒募集
昭和十四年度募集人員
本科……（修業年限二ヶ年）五〇名
技藝科……（修業年限二ヶ年）五〇名
專攻科……（修業年限一ヶ年）二〇名
各科二年……補欠入學生　若干名
入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月三十一日迄ニ提出下サイ、入學試驗ヲ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可致シマス
入學式ハ四月一日學行致シマス
規則書請求ノ場合ハ返送料トシテ郵券切手參錢送附ヲ願ヒマス
平市揚槌小路二十番地
文部大臣認可　平陽女學校

電話五九二番に變りました
食事喫茶酒場
喫茶
レストラン　サロン
平市銀座通街

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある醫店に先づ御相談下さる……
平市本町二丁目　玉屋

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

外科一般
内臓外科
肛門病科
皮膚科　專門
泌尿器科（婦人科）
生殖器科（性病科）
（入院隨意）
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九

十五日迄申告せぬと
折角の恩典に漏れる
所得納税者ご注意！

中税務署管内に於ける十四年度分第三種(個人)所得税に營業收益申告及び控除申請用紙は一兩日來所轄市役所町村役場を經て夫々配付と開始した。昨年調査委員の選擧が行はれたばかりなので期間内の申告如何は選被選權にこそ關係は無いが今月十五日迄の法定期間内に申告を怠るときは十八歳以下六十歳以上の老幼及び不具廢疾の家族に對する折角の恩典に浴する事が出來ず、その結果往々千圓の免税點を越わ僅かな處で課税を受くる事となるばかりで無く一般の自發的申告に對しては當局に於ても能く限り之を尊重し、細故の瑣微をのみ目的としないとあつて彼此期間内に申告するが非常に有利なので納税義務者は勿論、それに近い向に在つては此點の留意が肝要であると。因に申告上注意を要する諸點中比較的一般に關係深い申告事項は左記の通りである

信用登記を間はず貸金の利子所得

恩給年金及日給月給の如き給料の内より二割を差引きたる金額又其他職業所得（營業代書業等の如きもの）

以上の外昨年三月一日より今年二月末日迄の間に收入する

イ、株式の配當（配當金の内二割を差引きたるもの）

ロ、賞與（之も二割を差引くこと）

以上申告の場合は扶養家族中今月一日現在で六十歳以上の老人及十八才未滿の子供の氏名及十三年中拂込みたる保險料金（所得ある人の契約したるもの丈）一口毎に記載して屆出つれば所得金より控除せられ税金は其の分丈輕減せられる

一、和昭十三年に於て所得税及營業收益税納税者にして昨年一月以降支那事變の爲應召之に基因し所得及純益の四分一以上減損したる者に付しては本年分決定税額より輕減せらるべきに付之等に該當するときは申請書を提出すること

が地方關係役員左の如し（理事）大塚鳳三郎（平）（營業統制委員）堀喜一（同）

兒童作品展
第一校の試み

平第一校では四、五兩日校内に廢品利用普及の兒童作品展覽會を開き優秀作に授賞、尙ほ父兄を招き兒童の指導方法につき懇談

經費は前年踏襲
松ケ岡花の準備

松ケ岡の春を前に市當局では昨報の如くこの十五日市内關係筋を招いで花仕度の相談を行ふが新年度に計上した公園施設費は十三年度と同額で經常部に二千七百三十圓

これは藝妓屋組合の演藝費補助其他歡迎費六百圓電飾補助四百五十圓（櫻三百圓、ツツヂ百五十圓）の外園内修理、雜費等であるが時局柄多少の縮減を見るであらう

これは嬉しい悩み
求職兒狩り出し
卒業近く紹介所大童

希望の春と共にこの二十四日懷しの學窓を巣立つ小學兒のうち雄々しくも職業戰線を目指して平職業紹介所に就職斡旋方を申込んだ兒童はその數五百十二名

大半は軍需景氣の波に乘つて鐵工場其他工業方面で近く係員が管内各町村に出張更に求職兒を狩り出すで地方希望二百七十四名、東京、大阪其他縣外希望二百三十八名

これに對して求人數は何と望二百三十八名

氾濫とは正反對の現象を示し到底之には應じ切れぬの線を目指して平職業紹介所（管内六八六、縣外一、一三五）と云ふ數年前の求職

側面から職業補導
斡旋が濟み次第—紹介所一段の構へ

前記斡旋は五月末迄に一切を完了すべく愈よ卒業日の切迫と共に同所では片つ端からこれを取り決めてゐるが未だその一割四分强だが管内一四三名、縣外一一八名、計二六一名

目下順次「賣約濟」となつてゐるので卒業迄にはあらかた片づくものと見られてゐる

同所では右完了後更に職業補導として最初は文書を以て激勵の上近まは夫々歴訪して實狀を調査、指導の上尙ほ文書によつて側面から種々補導を試みるなど將來を左右する基本職業の補導に萬全を期して育て上げべく準備を進めてゐる

片倉絲姫
採用試驗

新規に百五十名

片倉磐城製糸工場では小學卒業期に際し例年の如く來る十五日見習女工百五十名の採用試驗を行ふ

中休みは不可と
敢然品評會開催
向上を目指す地方酒造家

酒類醸造の改善發達を圖る萬四千五百石（醸造戸數三十六粁）である

大別山の華と散つた市内二丁目出身曹長星野平區淺野裁判長係りで開廷嘉久治君の遺骨は三日〇〇着原隊に向ふ、合同慰靈祭を終へて懷しの故郷へ凱旋猶豫の判決を言渡された

星野曹長
遺骨凱旋

酒造組合では此際之を停止すに折角生産酒の向上を意氣込んだ矢先、一種の拍子抜けを感せしめ面白からぬ結果を招くではないかとの見解から來る二十五日頃を下一同翠樓上に恒例品評會を開催すべく目下考慮中であると云ふが今年は終始適順な氣候に惠まれた爲め從來以上の優良品が生産されるものと觀られてゐる。尙ほ十三酒造年度は生産統制實施の十一年度から三年目であるが造石數は當時の一萬六千石から千五百石減の一萬四千五百石（醸造戸數三十六粁）である

過失致死
判決

田人村自動車運轉手白鳥宏孝(二六)が去月二十六日櫛田リツ子(九)外二名をステップに乘せて惡路を通行中リツ子を轉落死に至らしめた事件の公判は此程平區淺野裁判長係りで開廷禁錮三ケ月但し二年間執行猶豫の判決を言渡された

春さめ情調
新田町界隈に

◇早くも艶な場景

体既報の如く、一般氣溫の上昇と適度の降りを望んでゐた矢先に今朝來久し振りでの小雨は、ことし初めての春雨情調と云ふ處で、蛇の目かしげて女行き交ふ新田町界隈には早くも生まめかしい艶な場景を展開した。この儘駘蕩の季に入るかどうかはわからぬにしても時既に彌生に入つた今日、寒波の戸惑ひはあるにしてもあるまじく風つ引きも漸次無くなることであらうと言ふ

過般來の餘寒と空氣の乾燥から各學校生徒其他に感冒患者が續出してゐる旨は大

霧笛

關の金毘羅樣と云へば赤井嶽藥師や飯野八幡などと共に地方屈指の盛む場で、一昨舊正十日は恰もその例祭日に當り、例年ならば季節柄小砂利を吹き飛ばす程の湯の嶽颪しや、下駄を取られる程ぬかる境内の霜融りに其の參詣も容易ではないのが今年は此の祭りには珍らしい程の好晴溫暖で、時局柄武運長久の祈願なども加はり朝來各宿近在平などの各方面から參詣者が野々曳きの賑ひで、境内處狹き迄に軒を並べた天狗達磨の面や鐵砲、サーベルの玩具賣り店先にも爭はれぬ非常時色を見せたといふ

戰はこれからと
某方面に出動準備

市内平窪出身　矢吹敏夫君
市内田町出身　五十畑光君（通信）

故郷健勝にて御活躍御精進の事で御座います。

識啓、平の皆々樣に遙か遠き江南の地より御は上陸以來永々御無沙汰いたしました。

暴支膺懲東洋平和確立の重大使命を帶びて日夜軍務に精勵いたし或は殘敵討伐警備治安工作に元氣旺盛にたしまして居ります故勇奮を覺ゆるので御座います。

江北〇〇水都市にて警備と共に待機いたして居りましたが愛念作ら出來ずして俄然別命降りて、漸く馴れた江北〇〇地を後にして去月十〇日乘船いたし揚子江を下る遡〇十里江南〇江支〇〇攻略戰に出動すべき準備中です。

想ひ深き回顧一年半の今日幾回となく戰鬪惡性の病魔と闘ひ皇國の爲御奉公出來る事は此れ偏に銃後の皆々樣の御後援と御祈願の賜と深く江南の地より感謝の念を捧げて居ります。失禮とは存じ乍ら新聞紙上を以て、御無音御詫び旁々御禮まで上ます。尙節時柄皆々樣の御健勝と御多幸とを御祈りいたします。さよなら

戰を中陣
聽く
(347)

御無音に打過ぎまして誠に申譯け御座いませんが何卒悪しからず御容赦下さい。

御尊家皆々樣に益々御

感激の萬歳
元大山從業員

馬場辰四郎君

上陸以來南京—祐溪湖—盧洲—六安—桑家集を進擊し大別山脈の嶮を越わ南城—光洲—信陽更に大山脈にある敵の陣を擊破して麻城に進出快速部隊と共に宋埠—黄波と戰果を擴張して武漢攻略に參加十二月二十九日午前三時敵前渡江午前五時三十分宇全〇〇飛行場を占領破壞されか格納庫上頭に日章旗は翻飜と翻へり感激に滿ちた萬歳の聲は曉の長江を壓し內地へも響けと絶叫しました

過般來の餘寒と空氣の乾燥から各學校生徒其他に感冒患者が續出してゐる旨は大

父も尋ねあぐむ
奇しき宿命に生きて來た
湯本町の高澤父娘

前記幹旋は五月末迄に一切を完了すべく愈よ卒業日の切迫と共に同所では片つ端からこれを取り決めてゐるが未だその一割四分强だが

感激の萬歳
元大山從業員

馬場辰四郎君

上陸以來南京—祐溪湖—盧洲—六安—桑家集を進擊し大別山脈の嶮を越わ南城—光洲—信陽更に大山脈にある敵の陣を擊破して麻城に進出快速部隊と共に宋埠—黄波と戰果を擴張して武漢攻略に參加十二月二十九日午前三時敵前渡江午前五時三十分宇全〇〇飛行場を占領破壞されか格納庫上頭に日章旗は翻飜と翻へり感激に滿ちた萬歳の聲は曉の長江を壓し內地へも響けと絶叫しました

過般來の餘寒と空氣の乾燥から各學校生徒其他に感冒患者が續出してゐる旨は大

父も尋ねあぐむ
奇しき宿命に生きて來た
湯本町の高澤父娘

前記幹旋は五月末迄に一切を完了すべく愈よ卒業日の切迫と共に同所では片つ端からこれを取り決めてゐるが未だその一割四分强だが

ドン底の家庭に「光」
立枝驛長夫人の篤行

ドン底生活に喘ぐ「女あんまさん」の家庭に寄する立枝平驛長夫人の篤行が街の話題に上つてゐる。

市内白銀町伊藤ハツ子さん(五八)は三才で父に死別後七つの時兩眼を失ひ大正十二年平の知人を頼つて東京から轉住、磐城訓盲院に入門して精進十年昭和八年同校卒業後は節記白銀町に開業の上鐵手一つに貧と闘ひながら病母ヨシエさん(四八)長男武雄君(六)を養つてゐる不逞な身の上

近所の話しでこのことを知つた立枝驛長夫人トミ子さん(五〇)はしきりに同情、此程金一封に添へて正月の餅や後七つの時兩眼を失ひ大正十二年平の知人を頼つて東京から轉住、磐城訓盲院に入門して精進十年昭和八年同校卒業後は節記白銀町に開業の上鐵手一つに貧と闘ひながら病母ヨシエさん(四八)長男武

大河内整骨院
平市撥槌小路四
大河内寅男

生徒募集
◆中堅公民ハ佑賢中等科ヨリ
◆受驗難關突破ハ佑賢專修科ヨリ
〔九三電話〕磐城佑賢學舍
支那時文科新設
商業簿記科特設
八月分授業料收徴ハセズ
◆古教科書半額以下ノ讓渡斡旋

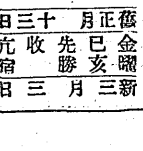
中風・血壓昂進・動脈硬化・高血壓・神經衰弱に
プロナクン
◎高血壓は生命を脅威す
平市田町
阿部藥舗

東北の最高酒
登録商標
金紋 大吟醸 花嫁 防腐劑ヲ含マズ
山形縣小松町
嵐山酒造株式會社醸造

發賣元 上總屋商店
平市三　電話七三一番
登録商標 霞城
山形市七日町
虎屋酒造店醸造

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
金一圓五十錢以上
本品ハ商工省主催「代用品工業展覽會」ニ於テ一萬數千點ノ出品中萬年筆トシテハ只一點鑑査ニ合格セル新興國策製品ナリ
平市才土小路
代理店 魁文堂
電話三一三番



三日
（小名濱測候所発表）
三、三〇　一、四五
干潮　午後八、二五　午後九、一〇
▲一白 ゆ斷せず周圍の事業を考へ進めば大發展す▲二黑 運氣初めはのび難けれどのちは良くなるべし▲三碧 外事は兎角面白からず内に居り自重すべし▲四綠 一時順風に乘り出するあとは逆浪に逢ひ易し▲五黄 此まで苦心せし事も今日に至り成功すべし▲六白 次から次と變りを生じ不如意に陥り易き日▲七赤 植し木の迫々根張り來る樣な運氣となる日▲八白 正しき道をふみ拔け目なくば思ふ所に達す▲九紫 急迫は大過の基ひあせらず徐々と進ぶに吉し